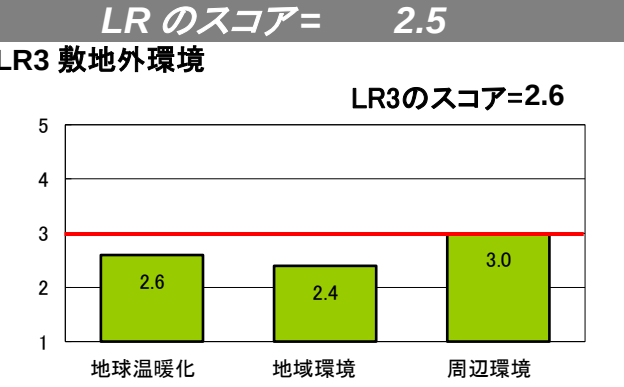
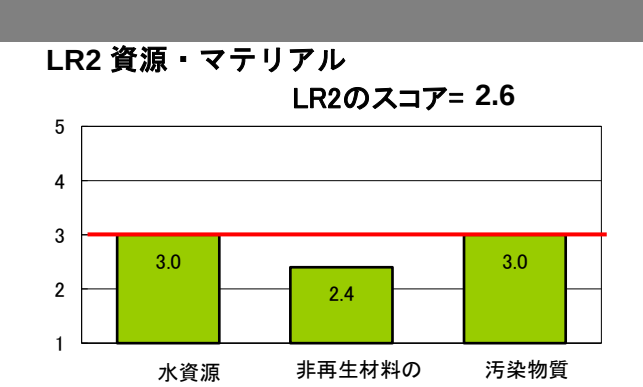
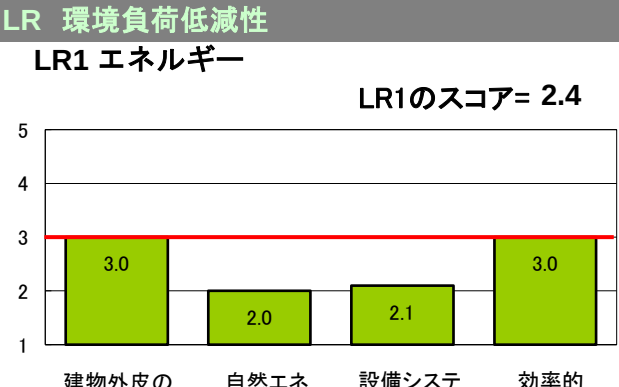
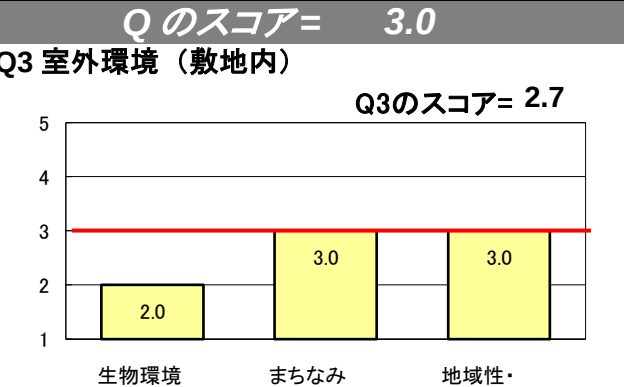
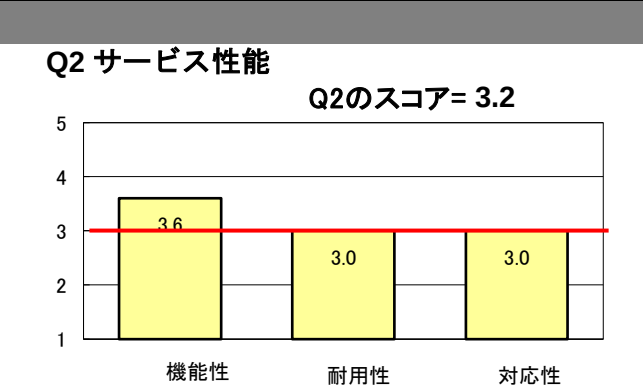
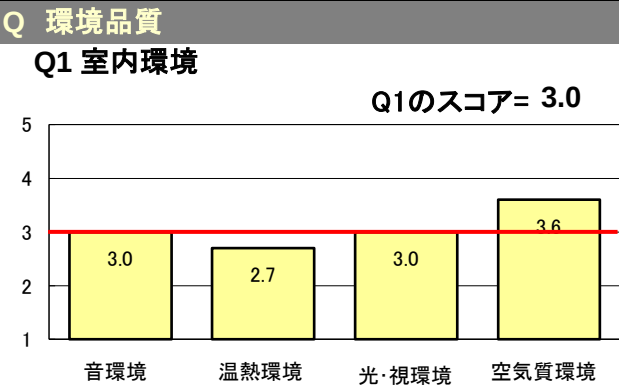
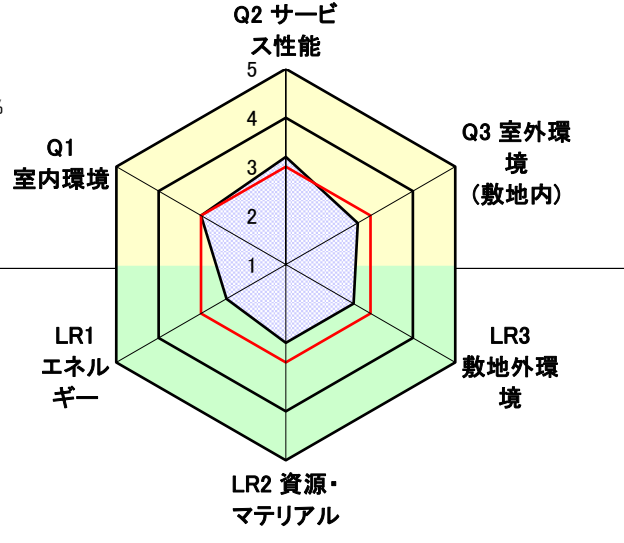
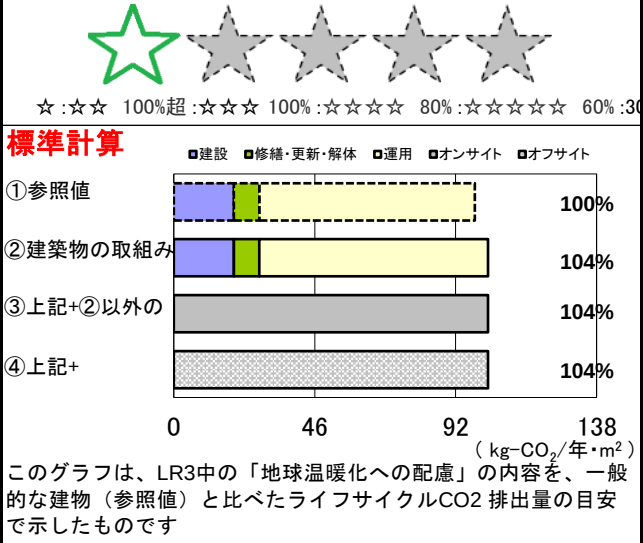
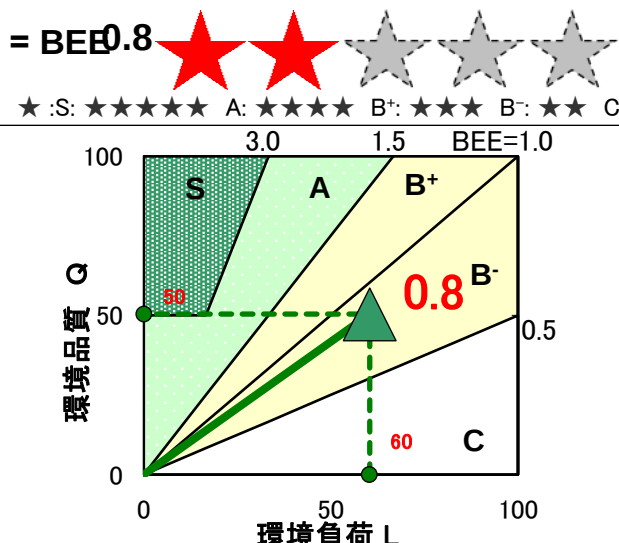


外衛
図を
シー

は
してください



総合	
建物を道路からセットバックさせ緑地を配することで、ゆとりのある計画とし周辺環境との調和を図った。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
建具は遮音性能の高いT2仕様とし、屋内音環境に配慮した。ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用することで化学汚染物質の発生を抑制し空気質環境向上にに配慮した。	高度情報通信設備として光ケーブル、ケーブルTV等に対応させた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
照明にはLEDを採用し、共用部照明は自動点滅等の制御をおこなうことで設備システムの高効率化に配慮した。	フロンやハロンを使用しないことで、汚染物質含有材料の使用回避に配慮した。

1/2

重点項目スコア・結果シート

(仮称)プレサンス伝馬二丁目(1616)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				2.4
LR1	エネルギー	2.5	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	2.6	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				2.6
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 2.4



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。